

サステナブルな会社が解体業のイメージを変える！

取材
企業名

株式会社吉田商会

高校名

愛知県立南陽高等学校

株式会社吉田商会について

株式会社吉田商会は愛知県豊橋市に位置し、1981年に創業した自動車の解体とリサイクル業を営む会社です。吉田商会では限りある資源の再利用・再生利用を進めることで「持続可能な社会づくり」に貢献し、自動車リサイクル事業を通してできることを一歩ずつ、進めています。

吉田商会のSDGsの取組

- 6年間で東京ドーム800個分のCO2削減、自動車リサイクル率100%や使用済みバッテリーの再生に取り組んでいる。
- 地元の小・中学生を対象に会社見学会を開催
- 持ち主の分からない放置車両の適正処分
- 地域の清掃活動



SDGsの取組を始めたきっかけ

自動車解体業は、怖いイメージや汚いイメージをする人もいますが、吉田商会ではそんなイメージを取り払うために、工場内の床にオイルが落ちていないようにするなど、工場内を綺麗な状態に整備して、さらに積極的にSDGsに取り組むことで業界全体のイメージアップを図れるよう取り組んでいます。



課題や今後の展望

- 解体業界の更なるイメージアップのため、リサイクルの花形となれるよう努めていく。
- 今後、自動車離れが進み、売り上げが減ってしまうとなった時に、次世代自動車など未来の乗り物でも対応できる技術を身に付けていき、未来の社会にも対応していける体制を作っていく。
- 更なるSDGsを進めていく上で、今まで実現していない製品や部品のリサイクルにも取り組んでいく。

その他参考になったこと

- 豊橋市内で走る路面電車の車体のラッピング広告を出し続けて、地元を代表する親しみやすい会社となっていること。
- 専門的な技術が必要な業種であるが、入社時は経験が全然ない人でも、真面目に取り組んでいけば誰でも主力になれるような体制を整えていて、人材育成にも力を入れていること。

訪問取材の感想

今回の企業訪問を通して、企業が取り組んでいるSDGs目標や、そしてその目標を達成するために実施していることや、その目標を達成することの難しさをインタビューと会社の見学の中で学びました。

今後はこれらの学びを、今、部活動で取り組んでいるフェアトレード製品や規格外野菜等を使用した製品の開発、販売に活かして、地域貢献に尽力したいと思います。

企業から高校生へのメッセージ

この度は当社まで取材に来ていただきありがとうございました。レポートも、会社の取り組みや私の思いなどをしっかりとまとめていただけたと思います。

部活での取り組みも素敵ですね。フェアトレードは商品を輸出している会社として、また規格外という部分では中古品という不具合と隣り合わせの商品を取り扱う会社として、事業の次の一手のヒントになりうるワードをいただけたと思います。当社の取り組みや、リサイクルの分野に興味があったらまたいつでも遊びに来てくださいね。

